

第 9 回 帯広市産業振興会議次第

日時：平成 22 年 2 月 18 日（木）17:00～

会場：帯広市役所庁舎 10 階第 5A 議室

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 観光交流拠点施設の取組状況について

- ① 提言書・産業振興ビジョンにおける位置づけ等の整理（資料 1）
- ② 施設整備に係る取組み状況（資料 2・資料 3）

(2) ビジョン事業の進捗状況について

- ① 工程表に基づく総括的な状況（資料 4）
- ② 小委員会の取組状況（資料 5）
- ③ 特に説明すべき事業の状況（資料 6～資料 9）

(3) その他

4 閉会

■ 提言書
● 交流部会

1 主な展開方策の考え方

(1) 観光資源

帯広・十勝の地域資源を生かした個性ある観光地づくりを進めるため、既存の観光拠点の魅力アップを図りながら新たな拠点づくりを進め、点から線への面的な広がりをもつ観光圏を形成することが必要である。(以下省略)

■ 主な意見

・ 温泉、風景、空気、水、食物、農業、ばんえい十勝を観光資源として活かす取り組みを進めるべきである。(以下省略)

(2) イベント・コンベンション(省略)

(3) 物産・食

地域の特産品等の普及宣伝や販売促進は、一次産業や食品産業などの地域産業の振興への寄与のみならず、特産品のブランド化による地域イメージや魅力の向上、集客力のアップが期待できるため、観光イメージ戦略上、重要である。
また、食文化による観光振興(食観光)は、知恵と工夫次第では、早期に実現可能で効果を生む取り組みである。関連する業種や行政等が連携して、旬の地場食材を地場で食することができる供給体制や、地産地消を推奨する飲食店のネットワークを構築し、地場食材を使った料理の開発・普及事業を通じ、「食の王国」としての帯広・十勝を積極的にPRする取り組みを検討することが必要である。

(4) 以降省略

2 具体的な施策の提案

(1) 観光資源

① 観光拠点施設の検討(長期)

市内の観光資源を活かした飲食、農畜産物・土産品販売など魅力ある複合的な観光拠点施設の整備などの施策を、長期的な視点から検討する必要がある。

② ファームレストランや農村カフェ創出の検討(中期:省略)

③ 産業観光モデルルートづくり(短期:省略)

④ 観光振興推進組織や人材育成の強化(短期:省略)

(2) イベント・コンベンション(省略)

(3) 物産・食

① 地産地消の推進、物産の販路拡大(短期)

地場食材を安定的に地元で供給できる流通の仕組みづくりを構築し、旬の地場食材で料理を提供する飲食店のネットワーク化を図り、地産地消の取り組みを進める施策が重要である。また、十勝で採れる旬の農畜産物、加工品などを宅配便として注文できる仕組みの創設やアンテナショップの利活用など、物産の販路拡大を促進する施策も必要である。さらに、民間を主体とした「(仮称)十勝版ミシュランガイド」の発行などにより話題づくりを目指して取り組む必要がある。

(4) 以降省略

■ 帯広市産業振興ビジョン

● 集客・交流産業の振興

1 交流拠点形成プロジェクト(重点プロジェクト)

帯広市の観光拠点を面的な広がりをもつ観光圏とするため、内外から幅広く集客している幸福駅周辺に新たな交流拠点施設を整備し、地域の強みである食や産業を活かした個性や特徴ある観光の魅力づくりを促進します。

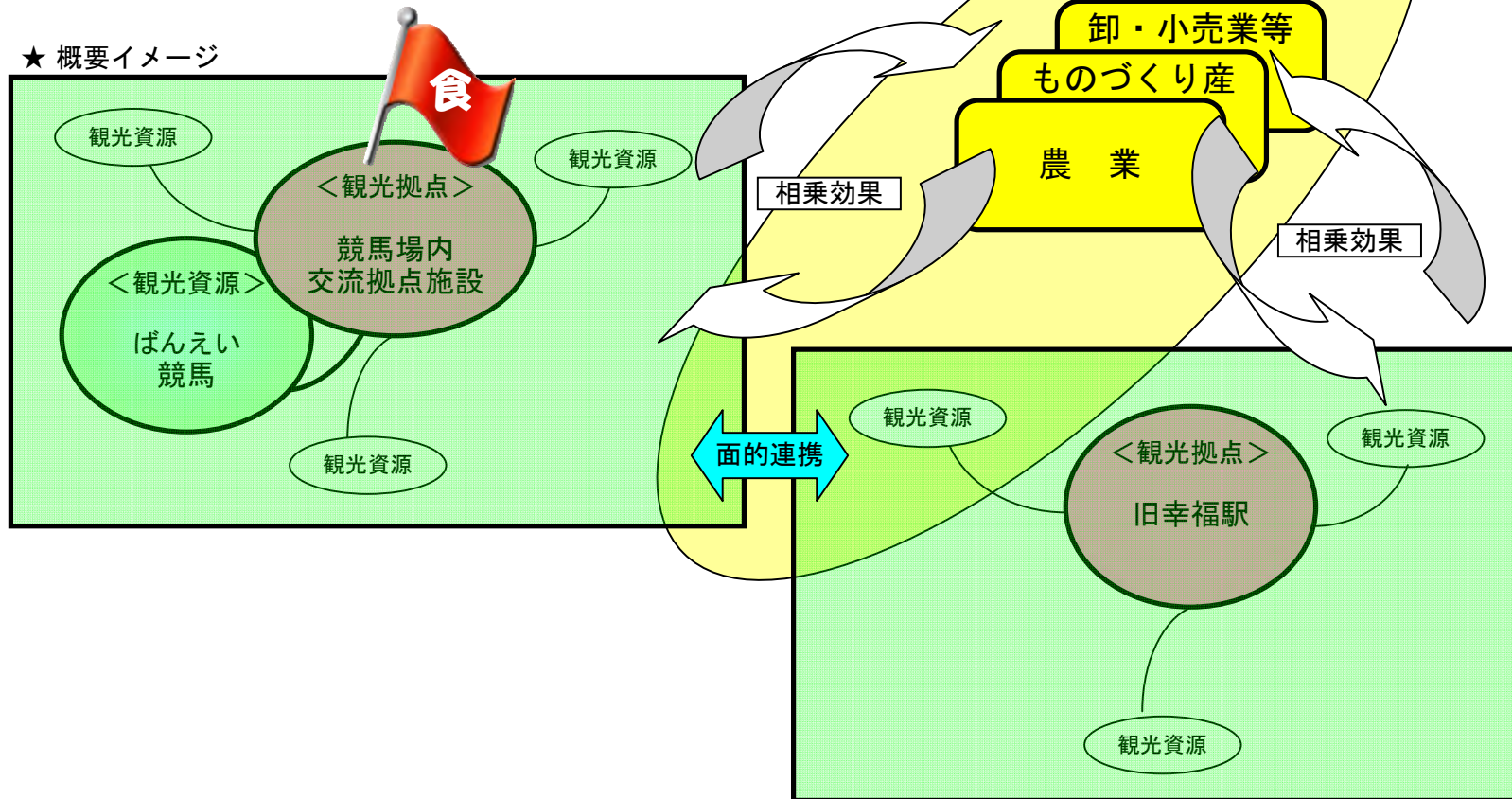
(1) フードツーリズム(展開事業37 ■ 食観光・産業観光推進)

- 旬の地場食材で料理を提供する飲食店のネットワーク化による地産地消の取り組みを進めます。
- 四季折々の特徴的な農作業や食品加工現場の視察、体験、試食を通じた産業と観光を結びつけたモデルルートづくりに取り組みます。
- 食のメッセにつながる食と物産の新たなイベントを実施します。
- 花、菓子のほか、飲食、温泉、体験などの要素も取り入れた街めぐりチケット(観光クーポン)の発行を実施します。
- 十勝で採れる旬の農畜水産物や加工品などを宅配便で注文できる仕組みの創設やアンテナショップの利活用を図ります。
- 話題性のある飲食ガイドの取り組みとして、民間を主体とした(仮称)「帯広版ミシュランガイド」の発行を検討します。

(2) 恋人の聖地イメチェン(展開事業42 ■ 幸福魅力づくり整備)

- ばんえい競馬を主体とした市内の観光資源を活かし、恋人の聖地となった幸福駅周辺に飲食、農畜産物、土産品販売など魅力ある複合的な観光拠点施設の整備を進めます。
- 景観と食を満喫できる場所づくりとして、ファームレストランや農村カフェなどの起業化を誘導する施策を検討します。

★ 概要イメージ



★ 提言書・ビジョンに基づく基本的な考え方

- ・ 地域の最大の強みである「食」を活かした産業振興
- ・ 「食」は、ものづくり産業、観光等の全産業に波及するすそ野が広く高い即効性
- ・ 地域振興の起爆剤として、「食」をメインとした観光拠点施設の設置
- ・ 拠点は単独ではなく、点在する観光資源を結ぶハブとして複数化

★ 時代的/地域的な背景
・ 世界的な競争が激化する中、地域の経済や雇用環境は非常に厳しい状態
・ 地域間競争が激化する中、地域の経済や雇用環境は非常に厳しい状態
・ 観光拠点整備の最速候補地としては、ばんえい競馬場内
・ 高速道路の無料化、道東道のH23全面開通への対応
・ 空港利用客の低迷、中国観光客の取り込み対応等

平成22年 1月28日
産 業 経 済 委 員 会 資 料

観光交流拠点施設整備に係る取り組み状況について

1 1月8日以降の取り組み経過

(1) 議会

- 1月 8日(金) 産業経済委員会：取り組み状況
- 1月28日(木) 産業経済委員会：中間報告

(2) 各種団体等への説明会

- 1月 9日(土) 帯広市産業振興会議
- 1月12日(火) 帯広商工会議所(商業委員会)
- 1月27日(水) 帯広商工会議所(観光文化委員会)

(3) 協力要請

- 1月13日(水) 豊頃町、浦幌町

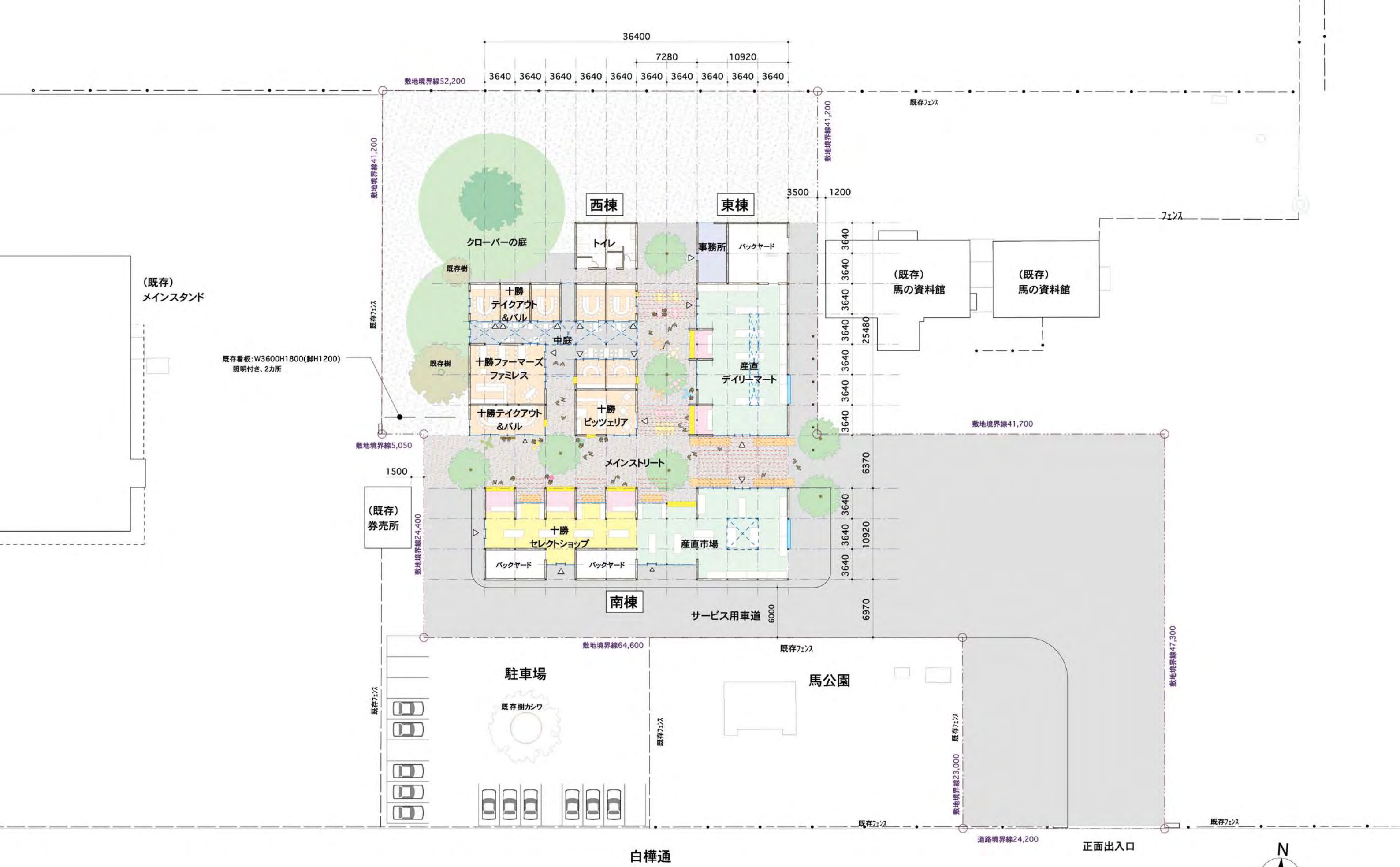
(4) 国等への説明及び情報収集

- 1月14日(木) 北海道経済産業局、北海道(経済部)

2 事業予定者の基本計画(案) 別紙のとおり

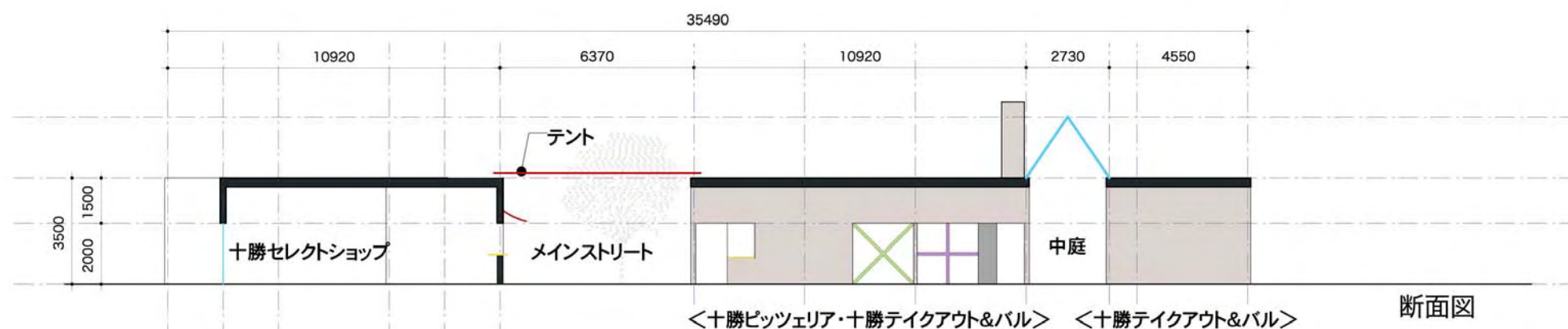
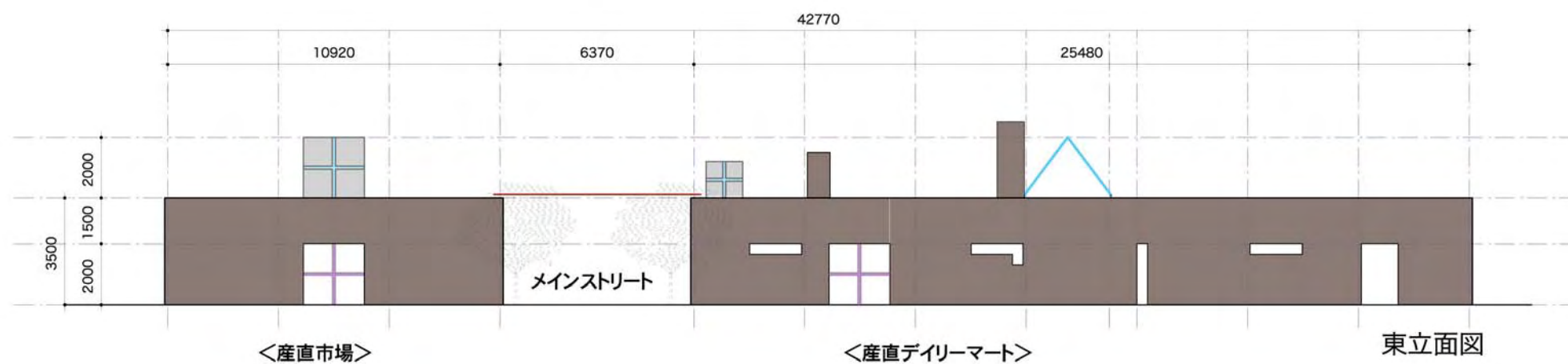
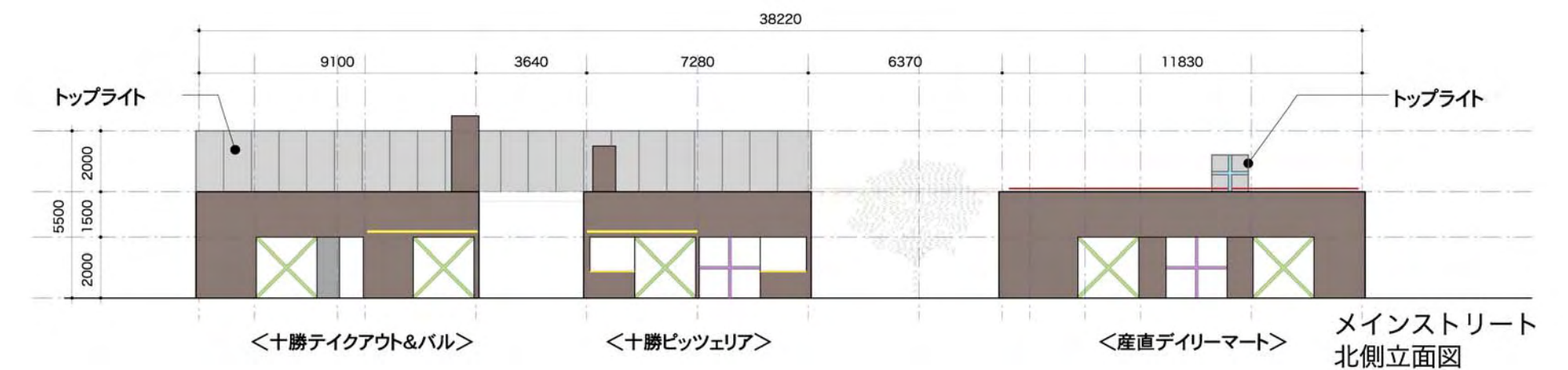
基本計画案

	当初提案	中間報告	ページ 番 号
概要（特色）	・広場を中心に小さな家や小屋が並ぶ集落を形成 ・遠くから見て特色ある建物 ・広場を木デッキとして休憩、飲食スペースとする	・シンプルなフラット屋根の箱型 ・トップライトや煙突で面白さを創出 ・トップライトによる照明用電力の軽減を図る ・共用部分（広場）を減らし、密度を上げてより賑わいを創出する。 ・メインストリートをロードヒーティングで冬の快適に過ごせる歩行空間を確保する ・サービス用車路の確保 ・身障者用駐車場の確保	3・4
構造	・木造平屋建て（約 10 棟）	・木造平屋建て（ゾーン別 3 棟）	4
延べ床面積	・295 坪（975 m ² ）	・304 坪（1006.93 m ² ）	4
産直ゾーン	・南側を産直ゾーンとし、生産者団体が生産物を持ち寄る農水畜産物市場を構築	・通路を挟んだ北側に産直デイリーマートを新設 ・十勝産の加工品（肉、魚類等）をそろえ日常生活にも必要な店舗を展開 ・建物外部にワイヤーで開閉できるテントを設け、季節限定の生産者直売ゾーンを新設	5
レストランゾーン	・北側の競馬場側をレストランゾーンとし、十勝を代表する飲食店、市民が日常で喜ばれる店構えで構築 ・小区画の区割りにより出店しやすい状況を作り、出展者を公募 ・大 2 店舗、小 4 店舗で構成 ・板デッキのテラス ・観戦テラス、屋上デッキ	・大規模集客（最大約 40 席）が可能な、十勝産食材を取り入れたファーマーズファミレスを設置 ・お客自らが選び焼く十勝ピッツェリアを設置 ・屋台型小型飲食店を集積した十勝テイクアウト&バルを設置 ・大 2 店舗、小 9 店舗で構成 ・飲食ゾーンに中庭テラスを設置 ・芝生を活用したテラス	6
物産館ゾーン	・北側の馬の資料館側に設置	・南側の競馬場側に産直ゾーンと連結して設置	7
概算工事費	250,000 千円	235,850 千円	8
補助希望額	200,000 千円	179,855 千円	8
年間売上想定額	483,600 千円	715,200 千円	9
年間買上客数	557,893 人	776,322 人	9
年間来場見込み数	—	543,425 人	9
年間想定観光客数	—	348,982 人	9
事業収支計画		別添	10
雇用創出予想	—	89人+@	11



全体配置図 S=1:400





立・断面図 S=1:200

【建物概要】

【規模・構造】

木造 平屋建て

【敷地面積】

約 4872 m² (1471坪) ※測量調査後、正式に決定します。

【延床面積】

1006.93 m² (304坪)

【主な仕上げ (外部)】

屋根…シート防水又は板金葺き
外壁…トドマツ (道産材)、木材保護着色塗料塗り
床 …コンクリートコテ押さえ

【主な仕上げ (内部)】

天井…石膏ボード又は吸音板、塗装仕上げ
壁 …構造用合板、塗装仕上げ
床 …コンクリートコテ押さえ

【構造設計】

スカート断熱工法
(建物外周の地盤中に水平断熱を施します。凍結深度が浅くてすみため、工期短縮とコストダウンが図れます。)

【設備設計 / 受電方式】

低圧受電ではインisialコストがかかるため、
高圧受電とします。

【設備設計 / 空調】

インisialコストを抑えて大空間の冷暖房に
向いている天井カセット式エアコンを採用します。

【設備設計 / 照明】

トップライトを設け、昼間の照明用電力の
軽減を目指します。

【設備設計 / ロードヒーティング】

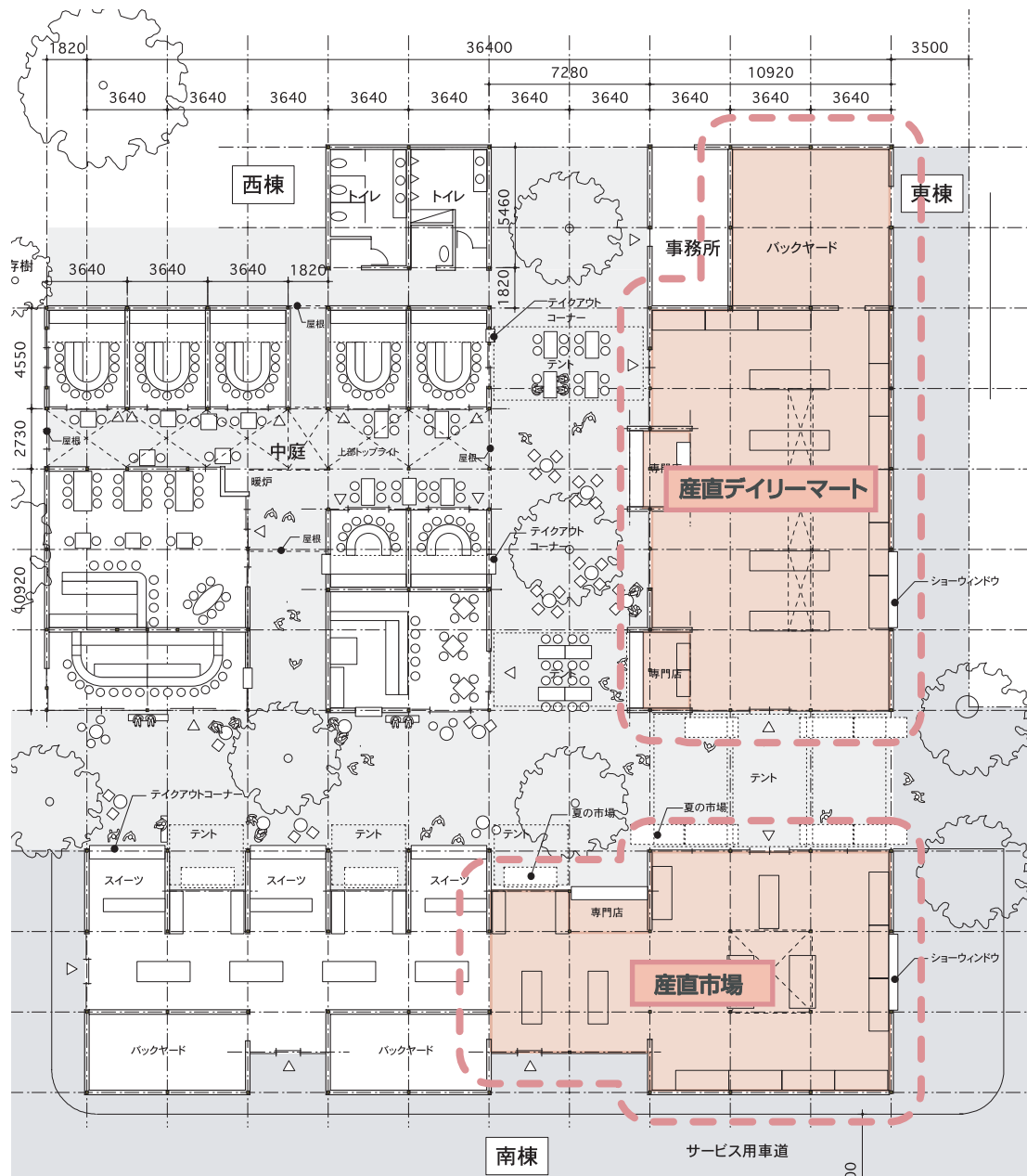
競馬場へ向かう人々が必ず通る場所でもあるので、
ロードヒーティングを布設し、快適に使ってもらえるようにします。

【建物の特徴】

- ・建設コストを抑えるため、シンプルなフラット屋根で箱形ですが、屋根から生えているようにトップライトや煙突が飛び出し、おもしろさを感じられるようにします。
- ・メインストリートに面して小さな店が張り付いているような表情をつくり、ヒューマンスケールで親しみやすい場所になるよう工夫します。
- ・ワイヤーで開閉できるテントを設けます。日よけの他、夏季限定の市場として使います。道に商品やテーブルが持ち出され、さらに賑やかになるような仕掛けを作っておきます。
- ・レストランの間に半外部を作り、天候に左右されずに飲食できたり、イベントが開かれたりする場所になります。

十勝 フードマルシェ

- ・十勝管内及び周辺の各農協、漁協や生産者団体が生産物を持ちよる農水畜産物市場を形成します。
- ・十勝農産品のイメージアップ、ブランディングを推し進めます。
- ・十勝産を主体にしつつ、北海道各地の加工食品を販売します。
- ・市場部分では、季節の良い時には建具を全面開放し、露店の雰囲気演出します。
- ・夏から秋にかけての農産品収穫時期には、建物外部にテントを設け季節限定の生産者直売ゾーンを作ります。



産直デイリーマート

- ・地場産野菜をはじめとした、地元住民の日常生活に必要な食品が通年揃う、デイリーユースな店。
- ・大型スーパーとは違い、ショップバイヤーが選りすぐった、十勝産を主体とした上質な商品を取り揃える。

想定商品

- ・十勝産野菜 ・果物
- ・その他通年野菜
- ・精肉(地場産豚、鶏、牛、羊等)
- ・加工肉
- ・日配品(こんにゃく、調味料、加工品等)
- ・米 ・酒、ドリンク 等

イメージ写真



産直市場

生産者団体 直売所

- ・十勝管内の生産者団体や個人生産者から産品を集め、販売する。
- ・十勝管内の産品をセレクトし、季節毎に違ったバリエーションの品揃えを行う。
- ・料理アドバイザーコーナー等を設け、より幅広く素材の良さをアピールする。

想定商品

- ・十勝管内農協の商品
- ・十勝管内個人生産者の商品

イメージ写真



小区画専門店

- ・十勝の個人生産者や専門業者が軒を連ねる小規模店舗の集積。
- ・農産品以外の魚や加工品等の専門店が並び、地元住民にとってより充実した食生活を提供するゾーンとする。

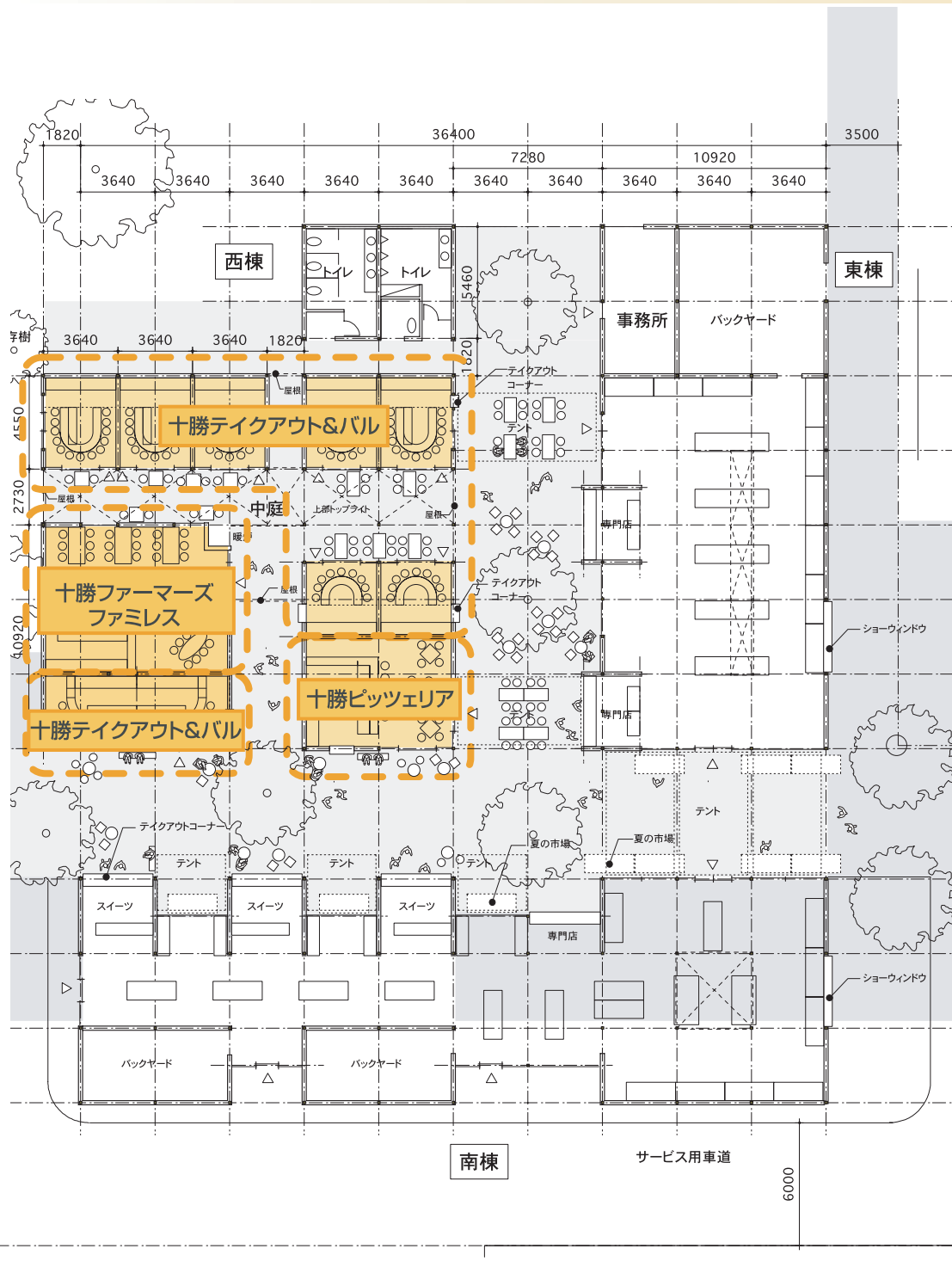
想定商品

- ・農産品
- ・練りもの
- ・鮮魚、水産品
- ・加工食品
- ・畜産品
- ・惣菜
- ・豆腐店
- ・花 等
- ・漬物

イメージ写真



十勝レストラン コンプレックス



- ・帯広競馬場は市の中心に位置し十分な駐車場を備えることから、飲食店の集積により集客が期待できます。
- ・観光客にアピールする帯広、十勝を代表する飲食店だけでなく、市民の日常で喜ばれる店揃えで構成します。
- ・小区画の店舗割りにして出店しやすい状況を作り、出店者を公募します。
- ・女性やファミリー層が楽しめるMD構成とします。

- ・飲食店の周囲にはテラスを作り、良い季節の時には戸外での飲食を楽しめるようにします。
- ・また、飲食ゾーンの中心に設ける共用席は、夏は風を感じながらも屋根による雨、日差しが遮られた半外部空間となり、冬は建具を取付け、暖炉により暖める事で、快適な室内空間となります。

十勝ファーマーズ ファミレス

- ・家族で楽しむ事が出来る、ファーマーズレストラン。(席数は約 40 席を想定)
- ・アイドルタイムは、カフェとしても機能する。
- ・メニューは十勝産素材を使用したシチュー、ハンバーグ、カレー、サラダバー等。

想定メニュー

- | | |
|--------|----------|
| ・シチュー | ・オニオンスープ |
| ・カレー | ・パフェ |
| ・ハンバーグ | ・コーヒー |
| ・サラダバー | ・ホットミルク |
| ・コロッケ | 等 |

イメージ写真



十勝ピッツェリア

- ・お客自らトッピングを選び焼くという、ピッツェリア。
- ・ドリンクやフライドポテトなどのサイドメニューも取り揃え、ばんえい競馬客に対するテイクアウト機能も充実させる。
- ・近隣住民へはデリバリーサービスも行う。

想定メニュー

- | |
|---------------|
| ・オリジナルトッピングピザ |
| ・フライドポテト |
| ・チキンナゲット |
| ・ドリンク各種 |
| 等 |

イメージ写真



十勝 テイクアウト&バル

- ・業種は、カレー、豚丼、とり半身揚げ、餃子、ハム・ソーセージなど、地元住民が普段使いしやすい屋台型小型飲食店の集積ゾーン。
- ・ランチの需要を見込み、営業時間を昼から夜までの形態とします。

想定メニュー

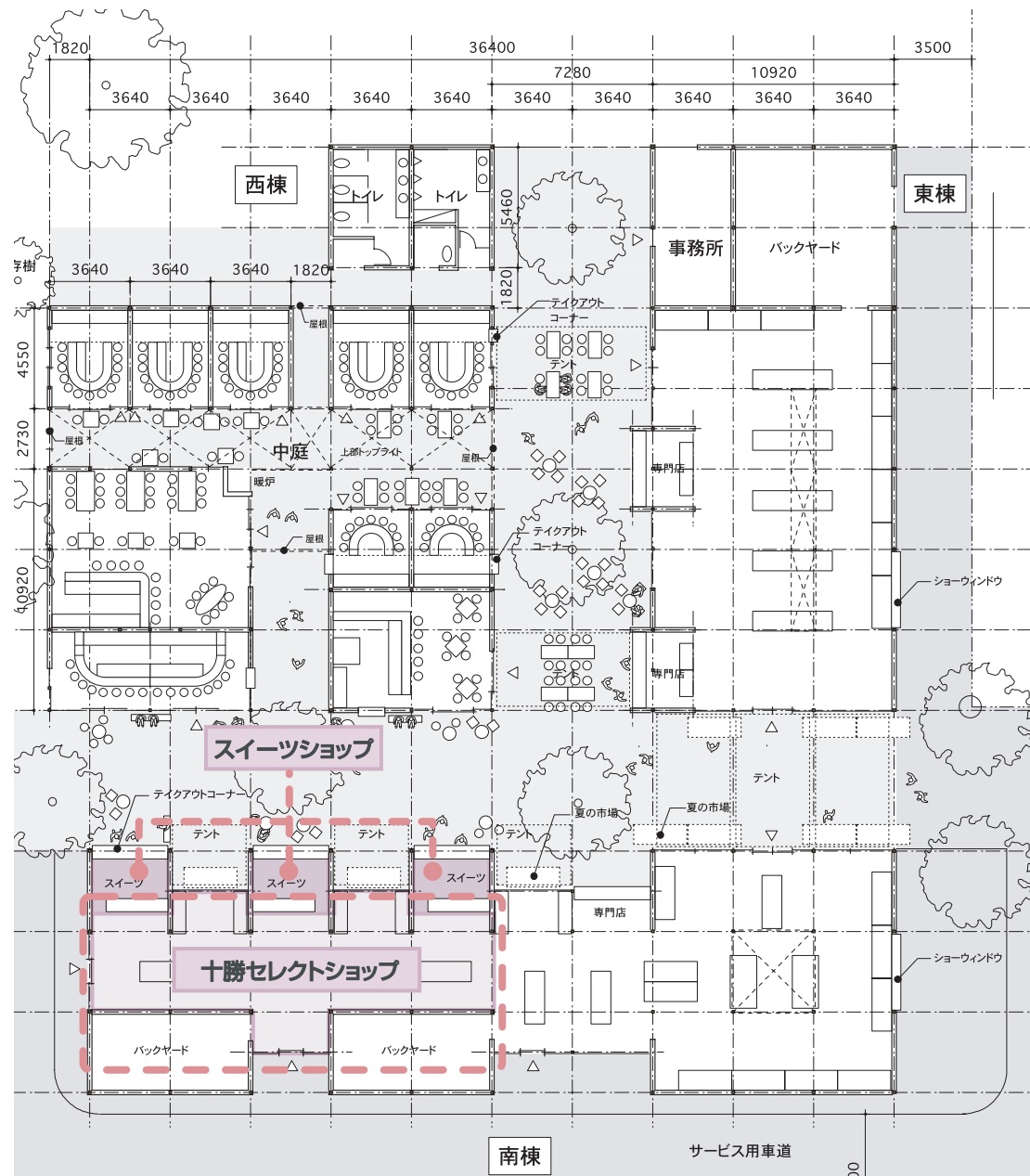
- | | |
|--------|-------------|
| ・そば | ・中華点心 |
| ・カレー | ・お好み焼き、タコ焼き |
| ・ぶた丼 | ・チーズ料理 |
| ・ラーメン | ・フレンチビストロ |
| ・イタリアン | ・生ハムバル 等 |

イメージ写真



十勝 スーパーショップ

- ・観光客をメインターゲットにしつつ、地元住民が日常的に使いたくなる上質な商品を提供します。
- ・スイーツや乳製品を始めとしたこだわりの食物販を集積させ、十勝の食の魅力を全面に打ち出します。
- ・地元の選りすぐりの土産品を一度に購入出来る、帯広市内では他に類を見ない店舗として、観光客の需要に応えます。
- ・地域にゆかりのあるクラフトやアート作品を取り揃え、ここにしかない十勝の新たな土産物店のスタイルを提案します。



十勝セレクトショップ

食物販コーナー

- ・十勝のこだわりの食の専門店を集積した、食のセレクトショップ。
- ・観光客は元より、地元住民が日常生活や手みやげに使える、本物志向のラインナップとする。

想定商品

- ・チーズ
- ・ワイン、地ビール
- ・はちみつ
- ・ジャム
- ・牛乳
- ・ヨーグルト
- ・箱菓子
- ・ハム、ソーセージ
- ・調味料
- ・果実飲料
- ・海産物加工品 等

イメージ写真



クラフトコーナー

- ・十勝管内、又はゆかりのあるアーティスト、作家の作品を販売する。
- ・地元住民も活用出来る、食器やステーションナリー、ポストカードなどを多く取り揃える。

想定商品

- ・アート作品
- ・ポストカード
- ・ステーションナリー
- ・食器
- ・ナイフ、フォーク
- ・ろうそく
- ・ガラス製品
- ・キーホルダー 等

イメージ写真



スイーツショップ

- ・十勝の名産品である和洋菓子の販売コーナー。
- ・ケーキ、プリン等のお土産菓子業態と、タイ焼きやソフトクリーム等の、食べ歩きが出来るテイクアウト業態を設ける。

想定商品

- ・たいやき
- ・おやき
- ・ケーキ
- ・シュークリーム
- ・ソフトクリーム
- ・プリン 等

イメージ写真



■「とがちむら」概算事業費

項目	内容	当初提案金額(千円)	中間報告金額(千円)
支援要望提案額			
建設費	産直市場	156,500	145,320
	スーパーニアショップ（物産館）		
	レストラン他		
環境整備費	植栽	33,000	24,035
	舗装		
	衛生設備		
	電気設備他		
開設準備費	測量費、基本計画、設計費等	10,500	10,500
支援要望提案額合計		200,000	179,855
自己負担額			
企画総合プロデュース費	運営計画、出展予定者交渉ほか開業準備経費等	32,000	46,995
事務所建設費		10,000	4,000
開業販促費		8,000	5,000
自己負担額合計		50,000	55,995
合計		250,000	235,850

■「とかちむら」売上および客数予測表

ゾ ー ン	業 態	面 積		想定売上			想定 客単価(円)	年間想定 買上客数(人)	年間想定 来場客数(人) ※買上客数の 70%を想定	対来場客 観光客比率	年間想定 来場観光客数(人)
		㎡	坪	月坪効(円)	月額(円)	年額(円)					
産直ゾーン 十勝フード マルシェ	産直デイリーマート	238.02㎡	約72坪	300,000	21,600,000	259,200,000	1,100	235,636	164,945	70%	115,462
	生産者団体直売所(産直市場内)	49.59㎡	約15坪	200,000	3,000,000	36,000,000	800	45,000	31,500	70%	22,050
	小区画専門店 (産直市場内、約3坪×2店、約2坪×1店)	168.60㎡	約51坪	200,000	10,200,000	122,400,000	800	153,000	107,100	70%	74,970
	計	456.21㎡	約138坪	252,174	34,800,000	417,600,000	963	433,636	303,545	70%	212,482
飲食ゾーン 十勝レストラン コンプレックス	ファーマーズファミレス(36席)	66.12㎡	約20坪	160,000	3,200,000	38,400,000	800	48,000	33,600	50%	16,800
	ピッツェリア(17席)	39.67㎡	約12坪	150,000	1,800,000	21,600,000	1,000	21,600	15,120	50%	7,560
	テイクアウト&バル(計99席) (約4坪×2店、約5坪×5店、約10坪×1店)	142.15㎡	約43坪	300,000	12,900,000	154,800,000	1,000	154,800	108,360	50%	54,180
	計	247.94㎡	約75坪	238,667	17,900,000	214,800,000	957	224,400	157,080	50%	78,540
物販ゾーン 十勝スーパー ショップ	スイーツショップ (約3坪×3店)	29.75㎡	約9坪	150,000	1,350,000	16,200,000	700	23,143	16,200	70%	11,340
	セレクトショップ	122.31㎡	約37坪	150,000	5,550,000	66,600,000	700	95,143	66,600	70%	46,620
	計	152.06㎡	約46坪	150,000	6,900,000	82,800,000	700	118,286	82,800	70%	57,960
合 計		856.21㎡	約259坪	230,116	59,600,000	715,200,000	921	776,322	543,425	64.2%	348,982

※買上客数を基にした来場客数の算出について：
施設内他店舗との重複率を考慮し、実際の来場者数は買上客数の70%であると想定。

■「とかちむら」 事業収支計画

事業収支計画	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
収 入					
運営収入	63,840	63,840	63,840	63,840	63,840
計	63,840	63,840	63,840	63,840	63,840
支 出					
人件費	17,388	17,388	17,388	17,388	17,388
福利厚生費	2,608	2,608	2,608	2,608	2,608
水光熱費	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
販促費	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
事務所経費	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
備品消耗品費	2,565	2,565	2,565	2,565	2,565
建物修繕費	1,224	1,224	1,224	1,224	1,224
火災保険料	43	43	43	43	43
警備清掃除排雪費	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
固定資産税等	1,457	1,457	1,457	1,457	1,457
その他	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
借入金元本返済(SPC運営に係る借入)	11,199	11,199	11,199	11,199	11,199
支払い利息(SPC運営に係る借入)	756	588	420	252	84
計	60,640	60,472	60,304	60,136	59,968
収支差引	3,200	3,368	3,536	3,704	3,872
収支差引累計	3,200	6,568	10,104	13,808	17,680

■「とかちむら」施設内雇用創出予測表

ゾーン	業態	面積	就業時間設定		雇用人数内訳				
			就業時間設定	休業日	固定給スタッフ		時間給スタッフ		合計
					人数	想定勤務形態	人数	想定勤務形態	
産直ゾーン 十勝フード マルシェ	産直デイリーマート	約72坪	9:00～21:00	無休	2人	週1休	10人	週30時間	12人
	生産者団体直売所	約15坪	9:00～19:00	無休	0.5人	週1休 (物販セレクトショップと兼務)	7人	週27時間	7.5人
	小区画専門店(SPC販売委託)	約23坪	9:00～19:00	無休	0人	－	0人		0人
	小区画専門店	約2坪	9:00～19:00	無休	0人	－	3人	週24時間	3人
	小区画専門店	約3坪	9:00～19:00	無休	0人	－	3人	週24時間	3人
	小区画専門店	約3坪	9:00～19:00	無休	0人	－	3人	週24時間	3人
	小区画専門店	約4坪	9:00～19:00	無休	0人	－	3人	週24時間	3人
	小区画専門店	約4坪	9:00～19:00	無休	0人	－	3人	週24時間	3人
	小区画専門店	約4坪	9:00～19:00	無休	0人	－	3人	週24時間	3人
	小区画専門店	約4坪	9:00～19:00	無休	0人	－	3人	週24時間	3人
	小区画専門店	約4坪	9:00～19:00	無休	0人	－	3人	週24時間	3人
飲食ゾーン 十勝レストラン コンプレックス	ファーマーズファミレス(36席)	約20坪	11:00～23:00	無休	2人	週1休	6人	週22時間	8人
	ピッツェリア(17席)	約12坪	11:00～23:00	無休	0人	－	5人	週36時間	5人
	テイクアウト&バル(9席)	約4坪	11:00～23:00	週1休	1人	週1休	1人	週36時間	2人
	テイクアウト&バル(9席)	約4坪	11:00～23:00	週1休	1人	週1休	1人	週36時間	2人
	テイクアウト&バル(13席)	約5坪	11:00～23:00	週1休	1人	週1休	1人	週36時間	2人
	テイクアウト&バル(13席)	約5坪	11:00～23:00	週1休	1人	週1休	1人	週36時間	2人
	テイクアウト&バル(13席)	約5坪	11:00～23:00	週1休	1人	週1休	1人	週36時間	2人
	テイクアウト&バル(13席)	約5坪	11:00～23:00	週1休	1人	週1休	1人	週36時間	2人
	テイクアウト&バル(13席)	約5坪	11:00～23:00	週1休	1人	週1休	1人	週36時間	2人
	テイクアウト&バル(16席)	約10坪	11:00～23:00	無休	1人	週1休	2人	週36時間	3人
物販ゾーン 十勝スーパー ショップ	スイーツ	約3坪	10:00～20:00	無休	0人		3人	週24時間	3人
	スイーツ	約3坪	10:00～20:00	無休	0人		3人	週24時間	3人
	スイーツ	約3坪	10:00～20:00	無休	0人		3人	週24時間	3人
	物販セレクトショップ	約37坪	10:00～20:00	無休	0.5人	週1休 (生産者団体直売所と兼務)	4人	週24時間	4.5人
事務所	マネージメントオフィス				1人	週1休 (施設マネージャー)	1人	週30時間 (事務・運営補助)	2人
合計					14人		75人	週29時間	89人

平成22年 2月 17 日
産 業 経 済 委 員 会 資 料

観光交流拠点施設整備に係る取り組み状況について

1 出店テナント決定までの流れ（予定）

- | | | |
|----|---------|---------------|
| 2月 | 25日（木） | 説明会告知広告 |
| | 28日（日） | |
| 3月 | 7日（日） | 出店説明会（とかちプラザ） |
| 3月 | 8日（月） | 応募登録開始 |
| | ～17日（水） | 応募登録終了 |
| 3月 | 18日（木） | 書類選考 |
| 3月 | 24日（水） | 面談及び試食会 |
| | ～31日（水） | |
| 4月 | 1日（木） | 最終選考会議 |
| 4月 | 9日（金） | 出店テナント確定 |

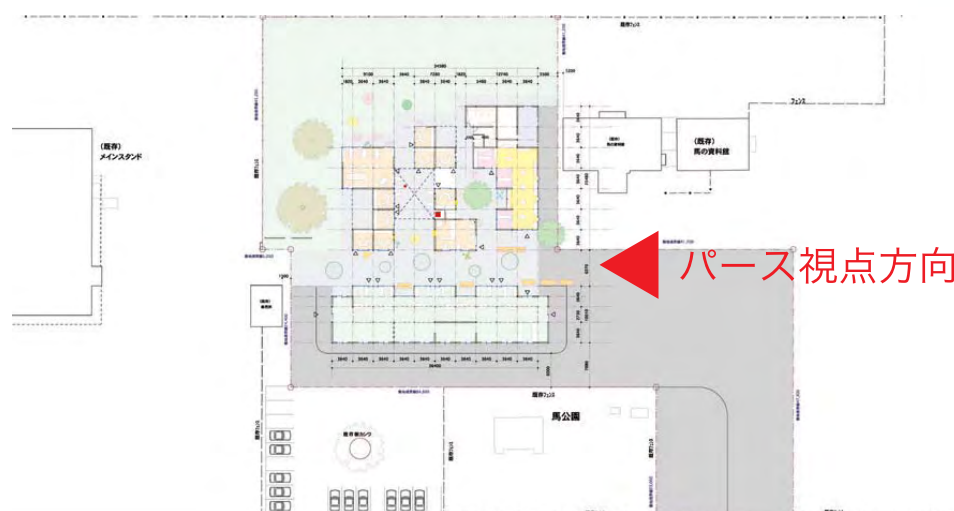
○ 公募予定

レストラン		約8店舗
小区画専門店	（市場内）	約8店舗

2 完成予想パース 別紙のとおり



メインストリート全体図



※パースはイメージとなりますので、今後変更の可能性がございます。



メインストリート拡大図

帯広市産業振興ビジョン具体化に向けた工程表 進捗状況

[平 平成22年2月18日 現在]

○進捗状況総括表	1
・ 中小企業の経営基盤の強化	2
・ 産業人・担い手の育成	3
・ ものづくり産業の振興	4
・ 産業基盤の強化	5
・ 集客・交流産業の振興	6

◆工程表（ロードマップ）の事業に対応し、①分類②実施組織③担当を記入

①「分類」は以下の3種類

「着手済」＝すでに事業実施のために予算化し、今年度実施の予定のものか、事業実施に向けた検討作業に着手しているもの。または市が直接主体ではないが事業の実施が決定しているもの。

「未着手」＝今年度以降着手予定だが、手法も含め固まっていないもの。もしくは工程表上、次年度以降着手予定となっているもの。

「着手予定」＝事業実施のための予算は今年度盛り込んでいないが、事業実施に向けて今年度検討作業に着手予定で、検討手法が定まっているもの。

②「実施組織」は「着手予定」と「着手済」の項目について以下の3種類で分類

「部会」＝部会で検討予定

「別組織」＝部会とは別組織で検討

「庁内検討」＝部会を設置せず検討

※着手済で市が直接事業実施に移っているものは担当課名を記載

③担当課は下記の凡例による

「商」＝商業まちづくり課

「産」＝産業連携室

「工」＝工業労政課

「観」＝観光課

「空」＝空港事務所

産業ビジョン 工程表に係る進捗状況総括表

		第9回産業振興会議 平成22年2月18日報告	第6回産業振興会議 平成21年10月21日報告	第5回産業振興会議 平成21年9月24日報告	第2回産業振興会議 平成21年6月3日報告
中小企業の経営基盤の強化 12事業 16項目	着手済	15	13	13	8
	着手予定	1	3	3	8
	未着手	0	0	0	0
産業人・担い手の育成 5事業 10項目	着手済	8	7	5	5
	着手予定	2	2	4	4
	未着手	0	1	1	1
ものづくり産業の振興 10事業 19項目	着手済	10	8	8	8
	着手予定	4	6	3	2
	未着手	5	5	8	9
産業基盤の強化 9事業 12項目	着手済	7	7	4	4
	着手予定	2	2	0	0
	未着手	3	3	8	8
集客・交流産業の振興 14事業 25項目	着手済	16	16	15	14
	着手予定	3	3	3	4
	未着手	6	6	7	7
計 50事業 82項目	着手済	56	51	45	39
	着手予定	12	16	13	18
	未着手	14	15	24	25
	計	82	82	82	82

■中小企業の経営基盤の強化 工程表（ロードマップ）

番号	展開事業	H21	H22	H23	H24	H25	H26～30	分類	実施組織	担当	数値目標・成果指標等
重点プロジェクト：創業・起業支援プロジェクト							教育委員会を交え、起業家教育プログラム体験会を実施				(現状値→H30目標値) ※現状値は原則H19
創業・起業支援											
6	創業・起業応援	教育委員会等と	教育がキニム等への組入れ(体験型含む)					↑着手済	庁内検討	工	【法人市民税賦課法人数】 5,067社→ 現状維持
		相談体制構築等	情報提供やアドバイスがワンストップで可能となる相談体制の構築・推進					着手済	別組織	商	
		創業・起業支援フェアの開催					着手済	別組織	商		
7	創業・起業実践	情報提供方法やサポート体制の検討	国・道・市の支援策の提供、サポート体制の構築・推進					着手済	別組織	商	【法人市民税の賦課金額合計】 21.5億円→ 現状維持
		創業支援のための融資制度の拡充					着手済	庁内検討	商		
重点プロジェクト：中小企業総合支援プロジェクト											
中小企業総合支援											
1	中小企業総合相談機能整備	地域支援機関との連携による総合的支援体制の構築					着手済	別組織	商	【卸・小売業及びサービスの法人市民税賦課金額】 9.8億円→ 現状維持	
		総合的情報発信の仕組みの検討・推進					着手予定	別組織	商		
9	事業承継・事業再生支援	関係支援機関との連携 相談・応援体制の整備・推進、セミナー開催・専門家派遣					着手済	別組織	商		
3	とちかち応援団のネットワーク化	(再掲)									
基本施策1：経営支援											
1	中小企業総合相談機能整備(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
2	仮称・産業振興会議の運営	産業振興ビジョンの推進組織の運営、進捗状況の検証					着手済		工	【商店街の空き店舗率】 10.39% (H20) → 現状維持	
3	とちかち応援団のネットワーク化(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
4	同業種・異業種交流の組織化と情報提供	関係機関のサポートによる効果的な交流の促進					着手済	別組織	工		
基本施策2：組織化促進・中小企業団体の育成											【ものづくり総合支援補助金採択件数に占める事業化・商品化率】 52.2% (H15～19平均) → 68.1%
5	組織化促進・中小企業団体の育成	中小企業者の組織化、中小企業団体の育成など中小企業の振興支援					着手済	庁内検討	商		
基本施策3：創業・起業の促進											
6	創業・起業応援(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
7	創業・起業実践(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
基本施策4：経営基盤の強化											
8	融資制度の充実	中小企業の資金繰り円滑化、中小企業振興融資制度の充実					着手済	庁内検討	商		
9	事業承継・事業再生支援(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
基本施策5：商業・商店街の活性化											
10	商業関係団体支援	商業振興のための活動支援					着手済	庁内検討	商		
11	商店街活性化、商店街団体支援	商店街活性化のために行う共同事業等に対し支援する事業(ハード、ソフト、イベント等)					着手済	庁内検討	商		
基本施策6：建設産業の革新											
12	ものづくり相談支援(新事業・新分野進出)	ものづくり総合支援補助金による支援の実施					着手済	庁内検討	工		
基本施策7：地域経済の調査研究							小委員会設置、開催【着手予定】⇒【着手済】				
13	地域経済の調査・分析	調査分析の効果的実施、有効活用等					↑着手済	部会	産商		

■産業人・担い手の育成 工程表（ロードマップ）

番号		展開事業		H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H26～30	分類	実施組織	担当	数値目標・成果指標等
重点プロジェクト：人材育成プロジェクト													
地域「人財」育成連携													
15	「人財」育成	中小企業研修連携会議の設置・運営								着手済	別組織	商	(現状値→H30目標値) ※現状値は原則H19
		実践的な経営者向け研修事業の充実								着手済	別組織	商	
		中小企業者向けカリキュラムの再構築等検討								着手予定	別組織	商	
16	総合的研修	図書館等を利用した研修機会の充実・推進								着手済	別組織	商	【有効求人倍率】 0.51倍→0.63倍
		中小企業出前講座の実施促進								着手予定	別組織	工	
人材マッチングシステム強化													
18	雇用創出支援	人材マッチングシステム(ジョブジョブとかち)の充実・強化								着手済	別組織	工	
		地域雇用創造推進事業(新パッケージ)の実施		新たな地域雇用創造推進事業の検討・実施						着手済	別組織	工	
基本施策8：担い手の育成													
14	インターンシップ事業の充実強化	帯広版インターンシップマニュアルの検討		帯広版インターンシップマニュアルの活用						着手済	庁内検討	工	
		十勝型インターンシップの実践								着手済	庁内検討	工	
15	「人財」育成(重点プロジェクト再掲)	(再掲)											
16	総合的研修(重点プロジェクト再掲)	(再掲)											
基本施策9：経営力の強化													
9	事業承継・事業再生支援	(再掲)											
基本施策10：雇用の確保													
17	シルバー人材センターの機能充実強化と新たな仕組みづくり	高度な知識・技能を持つ高齢者等の人材バンクの設立と、情報提供の仕組み作成									↑着手済	工	
18	雇用創出支援(重点プロジェクト再掲)	(再掲)											

シルバー人材センターと協議開始
【未着手】⇒【着手済】

■ものづくり産業の振興 工程表（ロードマップ）

番号	展開事業	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H26～30	分類	実施組織	担当	数値目標・成果指標等
重点プロジェクト：ものづくり創造プロジェクト											（現状値→H30目標値） ※現状値は原則H19
ものづくりファーム											
25	ものづくり技術力強化	既存の機械電気技術、木工技術、塗装技術等の研究会や勉強会の充実（大学や試験研究機関等との連携・技術力強化） 希少技術の掘り出し 技術習得講習 新卒卒業研修の充実 新卒卒業の目標設定と定着支援 専門的技術の習得や資格等の取得可能な専門コースの関係者協議 専門コースのモデル実施 研修の質・協賛の企業数等の向上を図る						着手済	庁内検討	工	【技術指導相談件数】 363件→492件
								未着手		工	
								未着手		工	
ものづくり支援カウンター											
26	ものづくり相談・支援	ものづくり総合支援補助金の機能充実（産業支援機関や中小企業総合相談機能との連携）						着手済	庁内検討	工	【ものづくり総合支援補助金採択件数に占める事業化・商品化率】
		ものづくり相談会やアドバイザー等の検討						着手予定		工	
フードビジネス支援											
20	アグリ・フード・バイオ関連産業振興	現状と方向性について調査・研究（食産業振興協議会の運営） 農産物付加価値向上、地域特性をいかしたクラスター化、地域ブランド向上等を目的としたアグリ・フード・バイオクラスター事業の展開（国の食料産業クラスター事業等の導入による総合的な食関連事業の展開）						着手済	別組織	産	61.5%→67.1% 【食料品製造業の付加価値生産性】 1,002万円→現状維持
知的財産活用（地域イノベーション）											
22	産学官連携	企業訪問等による情報交換						着手済		工	【大学・試験研究機関の共同研究数】 36件→43件 【十勝ブランド認証企業数】
		都市エリア事業等研究成果活用再検討						着手済	別組織	工	
		都市エリア産学官連携促進事業（発展型）の実施									
		十勝事業化評価支援委員会（産学官連携）の充実									
		帯広R&BP構想に基づく協議会等の設立						着手済	別組織	工	
		帯広R&BP構想に基づく、研究成果活用連絡会議、情報交流サロンなどの開催									
帯広R&BP構想に基づく、（仮称）研究活動支援交付金、（仮称）研究基金の検討											
基本施策11：地域資源活用・農商工等連携の推進											
19	地域産業資源活用促進	地域資源活用の手法について学ぶ場を提供し、地域資源を有する側と活用する側を結び付けるための事業の実施						着手済	庁内検討	産	帯広市内企業の認定数 地域資源：3件 農商工連携：2件
		地域資源活用情報交流事業						着手済	庁内検討	産	
20	アグリフードバイオ関連産業振興	(再掲)									
基本施策12：産学官連携の推進											
21	産業支援機能の充実	十勝産業振興センターや食品加工技術センター等の産業支援機関に設置されている機械						着手予定		工	帯広市食産業振興協議会で、平成21年より賛助会員制度を開始。当会の取組や開発された商品・イベント情報などをメールにて配信。2/17現在 正会員・賛助会員合計
		ものづくり相談会、アドバイザー等の検討（再掲）						着手予定		工	
22	産学官連携（再掲）	(再掲)									
基本施策13：産業クラスターの形成											
23	地域産業コーディネート	地域の優位産業の分析 クラスター形成に資する事業検討 各事業への展開（見直し含む）						着手予定		工	
24	大規模化へ頑張る工房支援	食品・木工・金属等の懇話会の設置 ものづくり相談・支援、ものづくり技術力強化、中小企業						未着手		工	
25	ものづくり技術力強化（重点プロジェクト再掲）	(再掲)									
26	ものづくり総合相談・支援（重点プロジェクト再掲）	(再掲)									
基本施策14：地域ブランドの形成											
27	市場開拓・販路拡大	十勝のストーリーづくり検討会の設置 十勝を総合的にプロデュースする活動 域外展示会や物産展への出展支援						着手済	部会	工・販	小委員会（部会）設置 部会3回開催、先進地視察等実施
		ものづくり補助金による支援【着手予定】⇒【着手済】						着手済	庁内検討	工	
28	とかちブランド育成	十勝地域の複数の「認証制度」 「認証制度」や「認証機関」の確立 認証取得に対する優遇措置の検討 認証取得優遇のモデル実施						未着手		工	
								未着手		工	

■産業基盤の強化 工程表（ロードマップ）

番号	展開事業	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H26～30	分類	実施組織	担当	数値目標・成果指標等
重点プロジェクト：ビジネス拡大立地促進プロジェクト											(現状値→H30目標値) ※現状値は原則H19
企業立地・誘致											
33	企業立地支援・誘致推進	企業立地促進法に基づく、立地企業の固定資産税減免制度の整備	企業立地促進法に基づく、立地企業の固定資産税減免制度の実施					着手済	庁内検討	工	【立地企業数】 4社→30社
		企業立地促進条例の見直し	企業立地促進条例に基づく支援の実施					着手済	庁内検討	工	
		企業立地促進法に基づく支援策の有効活用、支援制度のPR、企業誘致活動の推進					着手済	別組織	工		
34	施設の共同利用化		共同利用施設の必要性調査	コストやスケールメリットの検討			未着手		工		
3	とちか応援団のネットワーク化		とちか応援団のネットワーク化					未着手		工	
産業集積誘導戦略策定											
31	産業集積に関する検討	食料品製造業集積支援機能の検討(試験研究機能強化等に関する検討)					着手済		工		
		基礎調査	食料品関連産業、機械・金属関連産業、環境・リサイクル関連産業の集積に関する検討					着手済		工	
35	産業立地環境の整備	産業立地環境の整備(産業用地の確保に関する検討)					着手済		工		
基本施策15：産業基盤の強化											
29	産業集積誘導のための交流連携	庁内検討	産業集積誘導のための交流連携事業の実施(誘致企業等と地場企業の交流など)					着手予定		工	
30	工業用公共料金に係る負担軽減の検討	工業用公共料金に係る負担軽減の検討(周辺自治体や道内自治体等の制度を参考に検討)					着手予定		工		
31	産業集積に関する検討(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
基本施策16：交通ネットワークの活用											
32	道央圏、道東圏への商圏拡大PR	庁内検討	道央圏、道東圏への商圏拡大やPRの取り組みに対する支援の実施					着手済	別組織	観	
基本施策17：企業立地の促進											
33	企業立地支援・誘致推進(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
34	施設の共同利用化(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
3	とちか応援団のネットワーク化	(再掲)									
35	産業立地環境の整備(重点プロジェクト再掲)	(再掲)									
36	食料品製造業集積支援機能の検討	食料品製造業集積支援機能の検討(技術者					未着手	庁内検討	工		

■集客・交流産業の振興 工程表（ロードマップ）

項目	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H26～30	分類	実施組織	担当	数値目標・成果指標等 (現状値→H30目標値) ※現状値は原則H19
重点プロジェクト：交流拠点形成プロジェクト										【観光客入込数(延べ人数)】 236万人→269万人 【宿泊客延べ数】 83.7万人→94.2万人 【帯広観光コンベンション協会のホームページアクセス件数】 11.9万件→19.6万件 【帯広物産協会の物産取扱高】 5.9億円→7.4億円 【とち予帯広空港利用乗降客数】 60万1714人→62万7700人
ふーどツーリズム										
37	食観光・産業観光推進	飲食店みどり提灯推進のためのネットワーク化と地			民間移行		着手済	観		
		産業観光推進会議の設立・モデルルート検討		試行実施	本格的実施	民間移行	着手予定	別組織	観	
		とち予グルメ市の開催(とち予食彩祭実施年は実施せず)					着手済		観	
		街めぐりチケット検討・試行		発行(2年に一度見直し)			着手済	庁内検討	観	
		ふるさと宅配	実施				着手済	庁内検討	観	
		アンテナショップ		拡充(東京・札幌等)			着手予定	庁内検討	観	
帯広版ミシュランガイド内容の検討		発行				未着手		観		
とち予「ビジットシナリオ」										
38	総合観光情報提供	総合観光情報サイトの検討		サイト構築・試験運用・改良		サイト運用(観光推進団体等)	未着手		観	
39	観光客誘致、ロケ誘致推進	観光プロモーション及び国内線・国際チャーター便の利用促進キャラバンの実施					着手済	観		
		フィルムコミッション支援・ロケ地観光PR事業の実施					着手済	観		
恋人の聖地イメチェン										
42	幸福魅力づくり整備	魅力づくり整備促進(ハード・ソフト)					着手済	別組織	観	
		景観と食のスポット立地誘導策検討	景観と食のスポット起業化・立地誘導				着手済	庁内検討	観	
基本施策18：集客交流産業の振興										
37	食観光・産業観光推進(重点プロジェクト再掲)	(再掲)								
38	総合観光情報提供(重点プロジェクト再掲)	(再掲)								
39	観光客誘致、ロケ誘致推進(重点プロジェクト再掲)	(再掲)								
40	移住促進・移住体験				プロダクト体験プログラム事業検討	実施(H25・26)	未着手		観	
41	観光「人財」育成	観光プロデュース人材の養成(準)					着手予定		観	
					シティガイド・ボランティアガイド育成事業検討・仕組みづくり	育成・PR事業の実施	未着手		観	
基本施策19：拠点づくりの推進										
42	幸福魅力づくり整備(重点プロジェクト再掲)	(再掲)								
43	まちの魅力再発見			まちの魅力再発見事業の実施			未着手		観	
44	コンベンション誘致HQの設置	コンベンション誘致推進体制の強化(情報収集体制の強化・コンベンションディレクターの配置・)					着手済	観		
						コンベンションセンター機能の調査検討(H27)	未着手		観	
45	観光インフォメーション機能の充実	観光インフォメーション機能(ビジネスマン案内所)の充実					着手済	観		
46	環境・景観づくり	花でようこそ環境・景観整備事業					着手済	観		
基本施策20：ネットワーク化の促進										
47	シーニックバイウェイ推進	環境美化運動・幹線道路花植事業・おため観光スポットの情報発信					着手済	観		
48	海外旅行客の受入れ歓迎体制の充実	旅行客へのアナウンス、外国					着手済	庁内検討	空	
49	チャーター便の拡充と国際化の検討	チャーター便の拡充と情報取		国際化の検討			着手済	庁内検討	空	
50	空港利用促進	東京線新規	施設整備				着手済	別組織	空	
		航空路線の充実					着手済	別組織	空	

地域経済リサーチ小委員会の概要

資料5

1 「中小企業振興に関する提言書」の記載内容（提言書の47ページから抜粋）

地域の産業経済の持続的な発展のためには、地域の産業経済構造の実情を可能な限り調査分析し、その結果を踏まえてより効果的な施策の展開を図ることが重要です。そのためには、地域の行政機関、経済団体、大学、試験研究機関、金融機関等が連携し、継続的に地元企業の実態を把握し地域経済の調査分析を行うことが、よりよい施策の樹立のために重要であることから、地域経済研究会的な組織を設置し継続した取り組みを行うべきと考えます。

2 「帯広市産業振興ビジョン」の記載内容（ビジョン38～39ページから抜粋）

- ◆20の基本施策⑦地域経済の調査研究 展開事業(13) ■地域経済の調査分析
 - 地域内経済循環の現状を把握し、施策の効果を測定するためには、継続的に地域経済の調査分析を行う必要があることから、行政、経済団体、大学、試験研究機関、金融機関等の連携のもと、調査分析の効果的実施や有効活用を進めます。
 - 地域の中小企業者等の実態調査について、実態分析や施策の効果測定などに活かすよう実施時期や調査内容の研究を進めます。

委員名簿（平成22年1月現在）

委員長	竹川	博之	様
委員	秋元	和夫	様
委員	石戸谷	和政	様
委員	板谷	守	様
委員	金山	紀久	様
委員	河西	智子	様
委員	谷脇	正人	様
委員	橋枝	篤志	様

第1回（1月26日）■経済リサーチ先進事例の研究

講演「北海道小麦産業クラスターの可能性」
北海道農業研究センター 主任研究員 森嶋輝也 氏

第2回（3月予定）■十勝経済リサーチ事例の研究

調整中「フードシステム視点による十勝経済構造の分析から
～帯広畜産大学・帯広信用金庫 共同研究」
帯広畜産大学 准教授 仙北谷 康 氏

3 地域経済リサーチ小委員会の役割と活動目標（平成22年度にむけて）

■調査分析のあり方を議論：

地域経済リサーチの取り組みは、シンクタンクと呼ばれる専門的組織であっても一朝一夕に成果を発揮できる性質のものではない。調査分析の方法や組織、活用や公表方法などについて、地域経済リサーチ小委員会で議論を深める必要がある。

起業家教育プログラム体験会の実施結果について

平成 22 年 2 月 18 日

帯広市 工業労政課

1. 趣旨

将来の新規事業の創造・創出の担い手となる「起業家マインド」をもった若者の育成・輩出を図るため、小学校、中学校、高等学校で実施可能な良質なキャリア教育の一例として、経済産業省起業家教育促進事業で導入された起業家教育プログラムを帯広市の産業・教育・行政関係者が自ら体験するとともに、プログラムのねらいや他地域での実践例について情報共有化することを目的に実施。

2. 主催

北海道経済産業局、帯広市

3. 実施日時・場所

平成 22 年 2 月 1 日(月) 13 時 30 分～16 時 30 分

帯広市役所 10 階 第 6 会議室

4. 実施内容

- ・起業家教育プログラム（トレーディングゲーム）体験

講師；株式会社ウィル・シード インストラクター 兼 子ども・学校教育支援プロジェクトコーディネーター 豊田 庄吾 氏

- ・プログラム解説

- ・他地域のプログラム導入事例紹介（成功例、失敗例等）

講師；同 豊田 庄吾 氏

- ・道内事例、経済産業省施策紹介等

講師；北海道経済産業局産業人材政策課 丹羽係長

5. 参加者

北海道経済産業局、日本銀行帯広事務所、帯広商工会議所、北海道中小企業家同友会帯広支部、帯広信用金庫、十勝キャリアデザインネットワーク、帯広市教育委員会・商工観光部
計 28 名

6. 帯広市の今後の取り組み

今後 10 年間における教育の取り組みは、現在策定中の「帯広市教育基本計画」を基にすすめていくこととしており、キャリア教育・職業教育については、児童生徒が職業観・勤労観や職業に関する知識・技能を身につけることができるよう、小・中学校及び帯広南商業高等学校において、事業者などと連携して、職場見学・職場体験学習やインターンシップなどを進めることとしている。

7. 実施風景

①9 チーム(国)に分かれる (チーム内での役割分担)



②製品を製造・販売、収益を得る。(丁寧なものづくり)



③他チームと材料(紙)や道具(はさみ、定規等)の調達交渉(他者との交渉: WIN-WINの関係構築)



④製品取引所へ販売、銀行へ預金(銀行破たんも!)



⑤会話が英語に限定(コミュニケーションの重要性)



⑥講評(各場面設定の狙いを解説)



⑦結果発表(自己の行動の結果、発表前には予測も)

順位	国名	最終結果	最終結果	最終結果
1	ライオン	257,616	252,000	8
2	ドッグ	229,720	158,000	9
3	チーター	192,944	240,000	10
4	サイ	186,256	212,000	9
5	ゾウ	171,024	180,000	9
6	ラビット	158,880	136,000	5
7	シマウマ	132,400	199,000	14
8	タイガー	112,200	36,000	2
9	シカ	105,856	135,000	9
	合計	1,546,896	1,548,000	75

8. 参加者アンケート集計結果

参加者に対して実施したアンケート結果（回答数：27名）

設問1 本日の体験会全体に対する評価とその理由についてお聞かせください。

評価	
5 大変良い	18人（66.7%）
4 良い	8人（29.7%）
3 普通	1人（3.7%）
2 良くない	0人
1 全く良くない	0人

主な理由

（金融・経済関係者）

- ・人間社会における関係性、社会生活における重要性、情報や協働の価値などを多面的に学習できる手法を学べた。金融経済フェスティバルやTVで紹介された著名なプログラムを自ら体験できる機会をいただけた。
- ・実践的かつゲーム感覚で、だれもが楽しく取り組めるものであると感じました。社会人向けとしても大いに活用できると感じました。
- ・仕組み（ゲーム）に理由（裏づけ）がしっかりあり、子供たちの教育に好ましいと思う。
- ・はじめは戸惑いもあったが、実際に取り組んでみると非常に有意義であった。また、内容も極度なビジネス主義でないのが良かった。
- ・もう少し座学的なものを想像していたのですが、あまり説明のない状態で体験だったので、逆にそれが良かったです。
- ・実際体験することによって何が大切か身にしみて実感する。限りなく多くの気づきを得られる。

（教育・行政関係者）

- ・トレーディングゲームという言葉は聞いたことありましたが、初めての体験でとまどいはありましたが、楽しくできるものと感じました。その点では子供たちの興味はわくと思いますが。
- ・コミュニケーション能力を高めたり、確かめたりと、あらゆる面でも活用できそうです。
- ・参加する前は正直どんなお話か、あまりピンとこなかったのですが、ゲームを通じて①楽しさ（Enjoy!）、②新鮮さ（Fresh!）、③仕事へのやる気（Power!）をいただきました。
- ・基本的な条件設定に不公平感が強く残る。高校の授業で取り組むためには教員の理解が難しいと思われます。
- ・交渉能力、状況に応じた判断、情報収集力等、今の子どもたちに（大人にも）必要な「生きる力」を身につけることができる。
- ・大人でもいろいろなことに気づかされる内容で、情報をキャッチする必要性など改めて実感することが出来た。
- ・時間がアツという間。改めて、社会が様々な形で動いていることが自然に理解できる仕組みで、面白かったです！！
- ・経済原理の中で、企業の経営のあり方を体験的に、ある意味、手軽に学べることは、スゴイと

感じました。

- ・ Win-Win の関係を理解する上で、大変有効なプログラムではないかと感じました。また、チームワークや他者との連携の重要性を気づく良い機会になると感じました。

設問2 本日の講師についてお聞かせください。

評価	
5 大変良い	20 人 (74.1%)
4 良い	7 人 (25.9%)
3 普通	0 人
2 良くない	0 人
1 全く良くない	0 人

主な理由

(金融・経済関係者)

- ・ 大変素晴らしいです。子どもたちともっともっと接していただきたいと感じました。それだけ、たくさんのプログラムをこなされてきたのだと思います。
- ・ 大変楽しく、活発な進行を心がけていただき、有意義でした。
- ・ 手練れの講師で、安心して聞いて参加することができた。
- ・ 説明が明確で、事例も多い。
- ・ 「熱さ」を感じた。東京の講師のスマートさよりも豊田氏のような実践者だからこそ伝わるものがあった。
- ・ リズム、スピード、声の大きさ、聞こえ具合、姿勢等など、とても好感を受ける方でした。

(教育・行政関係者)

- ・ 地域振興に想いをもっている。
- ・ 非常に慣れていてとてもスムーズだった。
- ・ トータルで様子を判断し、リードしている感じがすばしかったです。
- ・ 3時間があっという間でした。たくさんの刺激を受けることができました。
- ・ 地域活性化に熱心さが伝わりました。地元の人が何か行動する必要があることを再認識しました。
- ・ 事例として、気づきの活用法や目的を明確に説明されていた。
- ・ とても理解しやすく、子ども達にとって、身近で、親近感があると思います。
- ・ 歯切れが良く、先生の経験豊かなお話を伺うことができました。
- ・ リズム、テンポが良く、今後の教育プログラムを考えるにあたって、ヒントになる話が多かったと思います。
- ・ 豊田様、北国の田舎町にいい刺激を与えていただき、本当にありがとうございました。隠岐の國でより一層ご活躍されますよう心からご祈念申し上げます。
- ・ 良い講師をご紹介いただいたと感じている。ねらい、目的、事例を踏まえてわかりやすく解説していただいた。

設問3 本日の体験会の中で、今後のご自身の仕事やその他の活動に役立つと思った点とその理由、より詳しく知りたいと思った内容についてお聞かせください。

ご自身の仕事やその他の活動に役立つと思った点

(金融・経済関係者)

- ・私自身も、こどもたちへ金融・金銭教育を実践していきたいと考えているため、本日の体験会は大変有意義でした。
- ・時間の管理や銀行破綻の発生への対応など、Safety Net 的な措置が必ず発動されるだろうという甘い期待を持っていたため、ゲームとは言え改めて自己責任の重要性を感じることができた。自立の大切さを官公需や政府等の政策、行政に依存し過ぎた地域に気づかせるうえで、この手法は効果的ではないかと感じた。
- ・ネット情報の活用の方法
- ・自らの発想の貧弱さ
- ・キャリア教育は同友会でも取り組んでいるので使えるかも。
- ・自分も子供たちの教育の中で役に立てることはあるのではないかと感じましたので、今後考えてみたいと思います。
- ・実際に子どもや生徒に接する仕事（スクールカウンセラー）をしており、学校の授業をする機会もあるので、授業の組み立て（構成）、ゲーム方式などが役に立った。
- ・CDN（十勝キャリアデザインネットワーク）の会で実際にやってみたい。

(教育・行政関係者)

- ・自己啓発。
- ・Will Seed さんの考えるキャリア教育のポイントが、学校教育のねらいと親和性があると感じられたこと。
- ・有限な時間をしっかりと意識に入れていく。
- ・相手の過失を責めない。
- ・学校現場。
- ・コミュニケーションすることの大切さ（交渉能力、表現力、etc.）。
- ・高校生に実践できると思った。
- ・チームワーク、客観性（まわりを良く見る）、戦略性が大事なこと。
- ・物事には表と裏があり、すべて自分の思いどおりにはいかないですね。Win-win の考えを大切にしていきたいです。本日は貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございました。
- ・情報収集。
- ・地元の高校の PTA の役員をしているので、他者との関係性を考えることのできる、結果（ゲームの）を受け止められる点が役に立つと思いました。
- ・地域活性化に向けた取り組みとして本プログラムは効果的と感じた。関係機関との連携は重要と再認識しました。
- ・学校教育のみならず、生涯学習・社会教育分野でも大変役立つと思います。
- ・コミュニケーションのとり方
- ・合理的な物事に対する考え方

- ・ 時間管理の大切さや予測する力、危機管理等

理由

（金融・経済関係者）

- ・ 将来の社会を考えたとき、トレーディングゲーム中での人との交渉やチームワーク、思考などがとても重要だと思う。
- ・ オソドックスな知識流入方の座学ではなく、参加体験型学習の良さは理解しているつもりだが、それを、ひとりで創り出すのはとても難しいので。
- ・ CDN のメンバー（女性）ほとんどが講師として活動できる人材だと思うので、地域の活性化のお役に立てるのではないのでしょうか。また、母親として子どもたちの教育には非常に興味がある方が多いので。

（教育・行政関係者）

- ・ 起業家教育＝金もうけというイメージが教員の間に根強い。
- ・ 児童生徒の指導に役立てることができそうです。
- ・ 経済については本当に勉強不足で、はじめはとまどいも多かったのですが、交渉力、意志決定能力など、日常、人と人が関わりあっていく上で大切なことに改めて気づき、ぜひ子どもたちにも体験させてみたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 生徒のみならず、P（Parent）も T（Teacher）も同じステージに立ち、結果を受け止められる絶好の機会になると思います。特に1年生の最初が！！
- ・ 社会・経済のしくみはもちろんのこと、自分自身の気づきのきっかけになるとともに、創造的な事業活動を自ら考え、行動する力を養うことにつながるものと期待します。

より詳しく知りたいと思った内容

（金融・経済関係者）

- ・ 子どもたちが感じたこと、足りなかったことなどをもっと詳しく知りたいと思いました。
- ・ 地域、学校で指導者を担うことが望ましいと思うが、かなり訓練を受けないと指導は難しいのではないかと。
- ・ トレーディングゲームがどのような力を育成するのか、ということ、これまで何回も何万人にも実施なさったと聞いているので、その検証と評価を詳しく知りたい。
- ・ マナーに執着しすぎてしまう不安をどう切り抜けるか、もうちょっと聞きたかった。あと、最下位だった失敗をどうやって自分を高めていくかトレーニング方法をアドバイスして欲しかった。

（教育・行政関係者）

- ・ プログラムを体験した後の児童生徒の変化。
- ・ 単発イベントで終わらせない工夫。
- ・ 地域性や年齢、性別などでどのような傾向になるか、データとしてあるとおもしろいと思いました。
- ・ 総括的な体験としては非常に有効かと思いますが、反面、ものづくりの本当の楽しさなどの実践には至らない部分が多いと感じました。

- ・学校での実践方法、実践例。
- ・目的である、いかにお金を稼ぐか…、色々な手法があると思うが、発想が乏しいと思ったので、またそういったことを考える機会をもちたいと思いました。子供のうちにこういう体験ができれば、とても良いと思います。

理由

（金融・経済関係者）

- ・思いつきや予想で導入するのではなく、なぜこのプログラムが教育や地域活性化として役立つかという根拠がほしい。自分がプログラムを紹介したり、実施したりするときの自信になるし、それがあれば、教育委員会や学校現場に紹介しやすいと思うから。

帯広市食産業振興協議会の取組

道産小麦転換推進事業に係る
地域振興モデル構築事業
(北海道庁・委託事業・
事業費2,510千円・H21単年)

- 外国産小麦から道産小麦への転換取組促進
 - ・道産小麦を利用したメニュー開発
 - ・多様な小麦品種生産に向けた取組
 - ・道産小麦転換のための組織作り

地域農産物付加価値向上
プロジェクト活動支援事業
(北海道庁・補助率1/2・
H21事業費2,000千円・H19~H21)

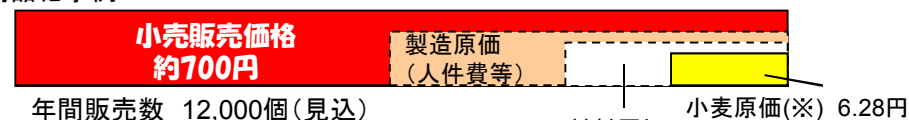
- ・十勝産小麦を用いた様々な商品開発支援
- ・小麦に関する各種イベント・セミナーの取組
- ・生産者・加工業者・流通・試験研究機関など
小麦に携わる人々の幅広いネットワーク形成

ベーカリー・キャンプ2009

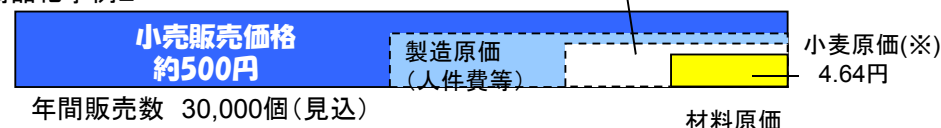
- 十勝産小麦を用いたプロ・セミプロ向けパン教室
講師:シニフィアン・シニフィエ 志賀 勝栄 氏
ブーランジェリー ラ・テール 栄徳 剛 氏
- 十勝の小麦畑・チーズ工房巡り
- 小麦品種の違いを楽しむ試食会 他

新商品開発・販売による経済効果

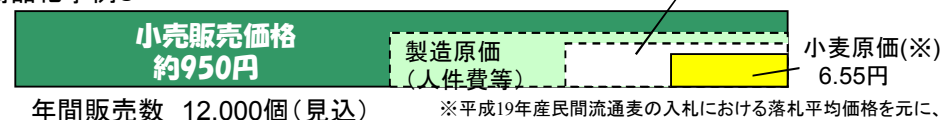
商品化事例1



商品化事例2



商品化事例3



※平成19年産民間流通小麦の入札における落札平均価格を元に、
各商品に使われている小麦の種類と量から積算

販売による年間の付加価値額は…

単位:千円

	年間売上額	売り上げに占める小麦粉の金額	差引額 (付加価値)	
事例1	8,376	76	8,300	8,376/ 76=110.2倍
事例2	15,000	140	14,860	15,000/140=107.1倍
事例3	11,400	79	11,321	11,400/ 79=144.3倍

十勝産小麦を地域で加工することにより、高付加価値化が実現！！

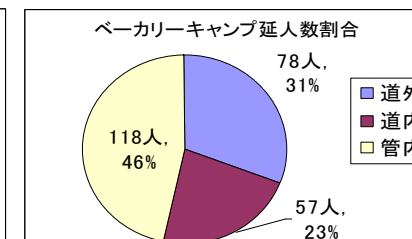
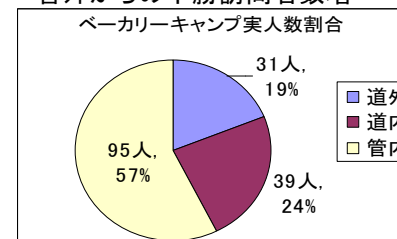
イベント実施による波及効果

講習会実施による技術力向上
→新たな商品作りに繋がる
例)市内Hベーカリーでは、講習会で
学んだ技術を用いた新しいパンを商品化



参加者へ十勝産小麦・十勝をPR
→十勝の知名度・イメージ向上

管外からの十勝訪問者数増



特に、道外からの参加者はオプションツアーも含め積極的に参加、
前泊・後泊で十勝観光も実施。

※参加者がブログにイベント内容の感想を掲載
⇒十勝の草の根PR

帯広市産業振興会議 展開事業説明書

資料 8

[担当：商業まちづくり課]

事業名称	帯広市中小企業研修連携会議の展開
事業の趣旨	地域産業の活力創出を担う人材の育成・確保は、中小企業の経営力の向上、生産性の向上、経営革新など、経営基盤の強化を図る上で重要な課題であることから、地域の産学官、関係機関が横断的に連携を強化し、総合的、効果的な人材育成を推進するため「帯広市中小企業研修連携会議」を設置するもの。
事業の取組み状況	・研修事業の内容・日程の共有に向けた協議、研修情報一元化に向けた取り組み ・講演内容を図書館を活用した貸出体制の構築→創業・起業支援フェア講演DVD作成・貸出（H22年2月） ・共同事業の検討・実施→「とかち産業振興フォーラム」の開催（年2月23日）・ITセミナーの開催（3月26日）
事業の特徴と今後の展開・課題	参画機関を、帯広信用金庫、帯広商工会議所、北海道中小企業家同友会帯広支部、帯広畜産大学地域共同研究センター、北海道中小企業総合支援センター、財）十勝圏振興機構、中小企業団体中央会、他十勝地域中小企業支援連絡協議会関係者で構成 各機関の情報を共有し、さらなる効率的な事業運営を目指すもの
スケジュール	H21. 4月～ 10 11 12 H22. 1 2 3 4～ 6月研修連携会議設置 10月第2回研修連携会議 2月経済振興フォーラム開催 3月ITセミナー 2月講演DVD作成・貸出 帯広市ホームページで情報提供

ビジョンの位置づけ	2 産業人・担い手の育成 基本施策 3 人材育成プロジェ 展開事業番号 6 創業・起業応援 15 「人財」育成
ビジョンの記載内容	展開事業(15) ■「人財」育成 (16) ■総合的研修 ●中小企業向け研修事業を効果的、効率的に行うため中小企業研修連携会議を設置し、研修事業の調整、意見交換を進めます。 ●関係機関と連携し、実践的な経営者向け研修の充実を図ります。 ●各団体が実施している研修等を収録したビデオテープ等を図書館で貸し出すなど、中小企業者が気軽に研修できる仕組みづくりを進めます。

帯広市産業振興会議 展開事業説明書

[担当:空港事務所]

事業名称	空港利用促進（航空路線の充実）									
事業の趣旨	路線の維持、充実による利便性向上をもって、交流人口の増加を図り地域経済の活性化に資する。									
事業の取組み状況	・ 空港ターミナルビル、愛知県などと連携し、名古屋線の利用客を増やす取り組みをさらに継続して進める。 取り組み例：平成21年12月29日から、帯広空港ターミナルビルにおいて名古屋、中部地区（愛知、岐阜、三重など）の観光パンフ等を提供し、名古屋線PRを実施している。									
事業の特徴と 今後の展開・課題	航空会社の経営状況悪化により、今後、赤字路線減便や廃止が懸念されることから、航空会社に対する着陸料の軽減措置拡充をし、路線の維持を図る。									
スケジュール	H21. 4月～	10	11	12	H22. 1	2	3	4～		
	・ 羽田空港でのプロモーション ・ 名古屋フェア開催 ・ 名古屋空港と連携した航空まつ			日高へのPR		結ぶ路線先の情報発信及びプロモーションの実施				
	東京線新規就航に係る情報収集及び要望活動									

ビジョンの位置づけ	集客・交流産業の振興 基本施策 20 ネットワーク化の促進 展開事業番号 50 空港利用促進 利便性向上等	
ビジョンの記載内容	展開事業(50) ■ 空港利用促進 ● 利便性向上を図るため、機材の大型化や複数社による運行など航空路線の充実に取り組みます。	